

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	健康福祉部
	03129-1	障がい児支援事業	室名	子ども総合センター子ども家庭
	基本施策の大綱	05:次世代を担う人づくりと歴史文化の振興	財	会計 一般会計
	基本施策	02:子育て支援	務	款 民生費
	施策の方向	02:すべての子育てを支援するしくみづくり	科	項 児童福祉費
戦略プロジェクト		目	目 保育所費	

② 目的・概要	対象	保育所に入所している障がい児
	目的	保育所に入所する障がいのある児童が他の児童との生活を通して共に成長できるよう、一人ひとりの児童の発達過程や障がいの状態を十分に把握し、適切な環境の下で過ごせるよう支援する。
	概要	障がいのある3歳未満児には加配保育士を、3歳以上児には介助員を配置し、一人ひとりの児童に応じた適切な支援を実施する。また、より良い環境で教育・保育が提供できるように施設を修繕するとともに、必要な備品を購入する。

		27年度	28年度
①	名称	障がい児加配の保育士数	計画値
	補足		実績値
			単位
②	名称	障がい児加配の介助員数	計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称	保育所に入所する障がい児の人数	計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績				
				保育所に入所する障がい児の人数 40人 加配の保育士数 3人 加配の介助員数 16人				
④ 事業の計画・実績	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	758	平均給与額×③
			38,306	37,509		一般職員人件費 ②	758	
	国庫支出金				所要人員 ③	0.10		
	県支出金		1,029	1,687	臨時職員人件費 ④			
	地方債				受益者負担額 ⑤			
	その他		19,180	19,180	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	一般財源		18,097	16,642				
	再掲	翌年度への繰越額						
		前年度からの繰越額						
		総人件費		①	758			
	総コスト		⑥	38,267				

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	事業の実施により、障害のある3歳未満児に対しては加配保育士、3歳以上児に対しては介助員を配置し支援を行った。また、児童の状況に応じて、施設の改修を行うとともに必要な備品を購入し、障がいのある児童が保育所で安心して過ごせる環境を整備することができた。	総合判定
	【反省点・課題】	介助員の知識・力量を高めるために、計画的な研修の実施や教材が必要である。また、近年、支援の必要な児童が増加の傾向にあり、加配保育士や介助員の確保が困難になってきている。	A 順調に進んだ
	【改善の方向性】	教育委員会と連携し、介助員の力量向上につながる研修を実施する。また、保育士及び介助員を確保するため、年間を通じて募集するなどの対策を講じる。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 子ども家庭室長 青木 正彦